

● 活動目的

- 1) 決定機関である院内感染対策委員会とその実働組織として院内感染対策チーム(ICT)の連携をよりスムーズに進め、迅速かつ柔軟に、データの集積、管理の一本化、院内感染対策防止の窓口として機能的に対処する。
- 2) 抗菌薬の選択、投与に関する診療支援を行い、抗菌薬適正使用を推進する。

● 活動状況

1. 教育活動

- 1) 院内講演会の開催(年2回)
  - 第1回「VREについて」「抗菌薬適正使用に向けて～適切な検体採取～」 参加率:99.4%
  - 第2回「梅毒」「抗菌薬適正使用に向けて～薬物血中濃度測定～」 参加率:99.1%
- 2) 勉強会・講義等の開催、講師派遣
  - 勉強会:リンクナース、研修医、病棟看護師、医療クラーク、ボランティア等
  - 研修会:グループ研修(放射線科技師)、看護学校、院外研修会

2. 院内ラウンド

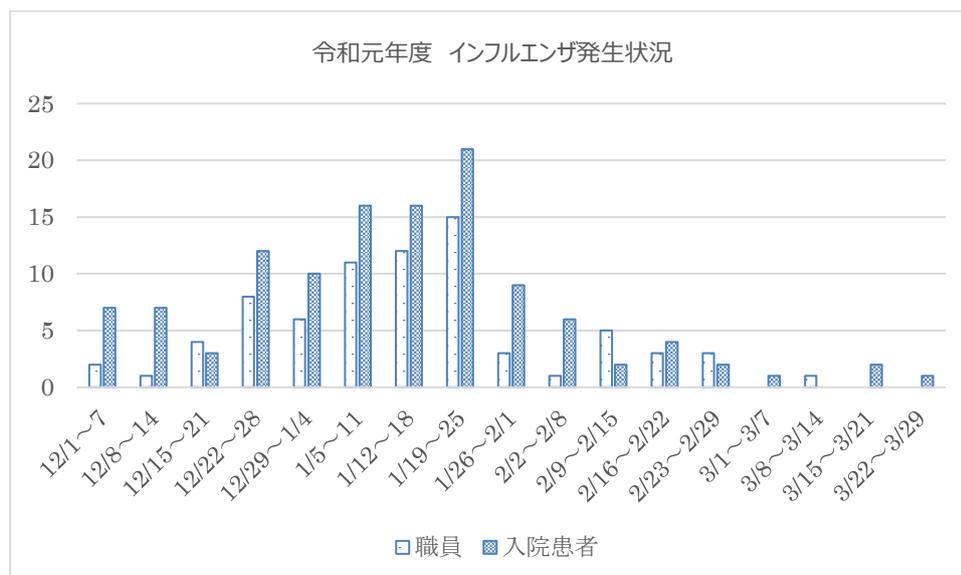
- 1) 抗菌薬適正使用に向けて使用状況の確認
  - ASTミーティングの実施
- 2) 感染対策実施状況の確認
  - マスクの適切な装着状況、ゴミの分別状況、針捨てボックスの使用状況の確認
- 3) 病棟環境の確認
  - ICT 拡大メンバーによる薬剤部、栄養管理室、リハビリセンター、ME 室、放射線科、検査科の環境ラウンドの実施

3. アウトブレイクの防止

- 1) 多剤耐性菌の検出状況(院内検出新規のみ) :
  - 平成 30 年度に VIE のアウトブレイクが発生。転院症例の転入時スクリーニング検査を継続中。

菌名	件数
多剤耐性緑膿菌	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	11
バンコマイシン(中等度)耐性腸球菌	2
メチリン耐性黄色ブドウ球菌	122
基質拡張型βラクタマーゼ産生菌	128
クロストリデオロイテス・ディフィシル	36

## 2) インフルエンザ



	職員	患者		付き添い		アウトブレイク	予防投与	
		総数	うち院内	総数	うち持込		職員	患者
2017年シーズン	92	140	18	0		1部署4名	144	75
2018年シーズン	69	84	7	0		なし	92	56
2019年シーズン	75	119	12	4	2	なし	73	88

## 4. サーベイランス

### 1) SSI サーベイランス (JANIS)

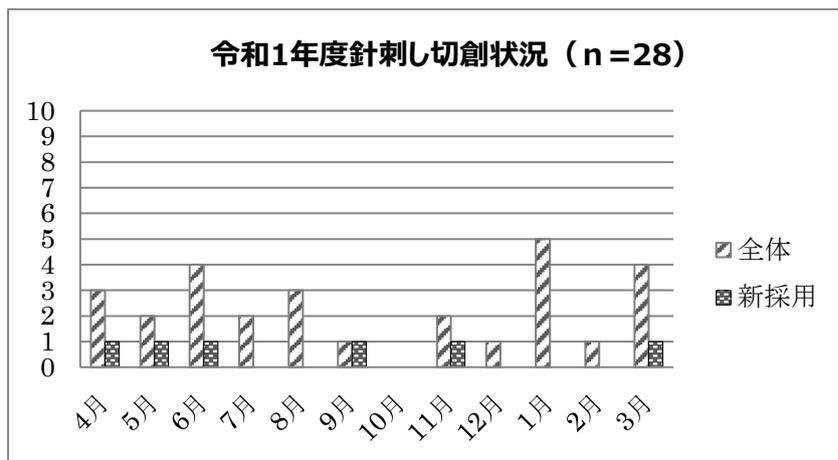
対象手術件数 (2019/4/1~2020/3/31)

	RI:M	RI:0	RI:1	RI:2	RI:3
COLO	20	40	20	6	2
REC	5	20	7	1	0

感染率 (%)

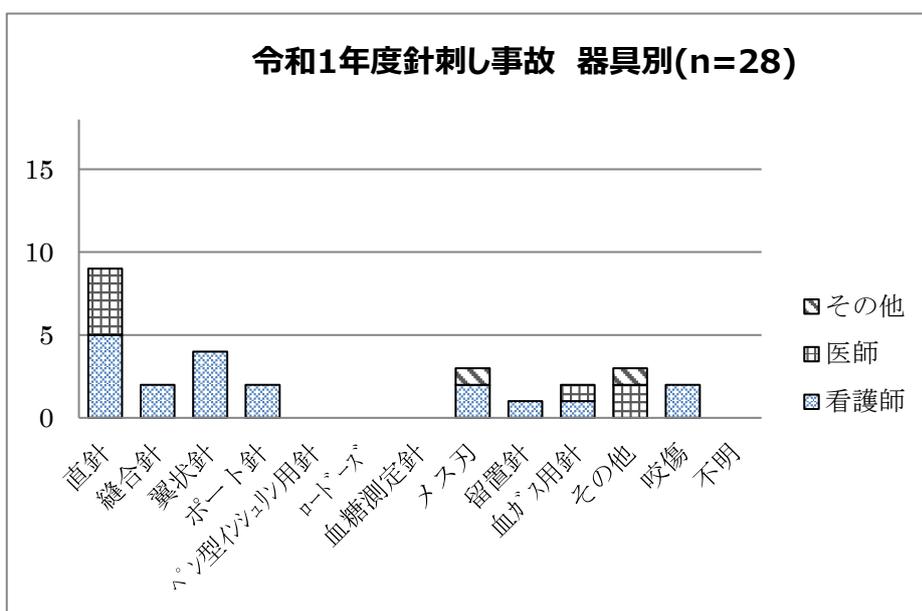
	RI:M	RI:0	RI:1	RI:2	RI:3
COLO	0	0	5	16.7	0
REC	0	5	14.3	0	0

2)―① 針刺し切創サーベイランス

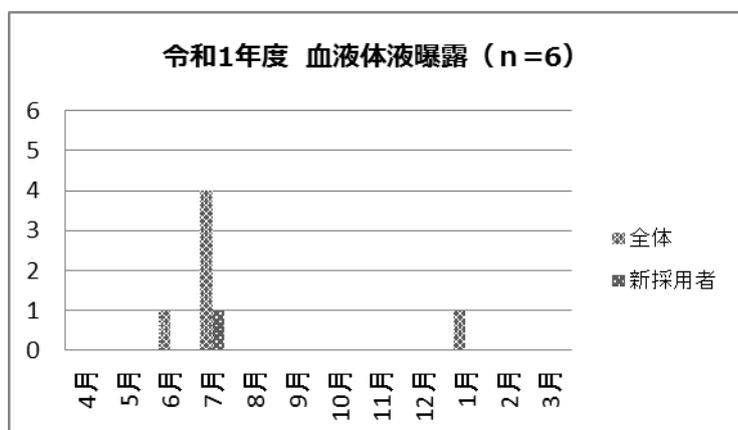


<受傷の場面>

リキヤップ	2
キャップを外すとき	4
鋭利物の受け渡し	
安全装置作動時	
片づけ時	5
抜針時	3
使用中誤操作	7
咬まれた	3
その他	4
合計	28



2)―② 皮膚粘膜汚染サーベイランス

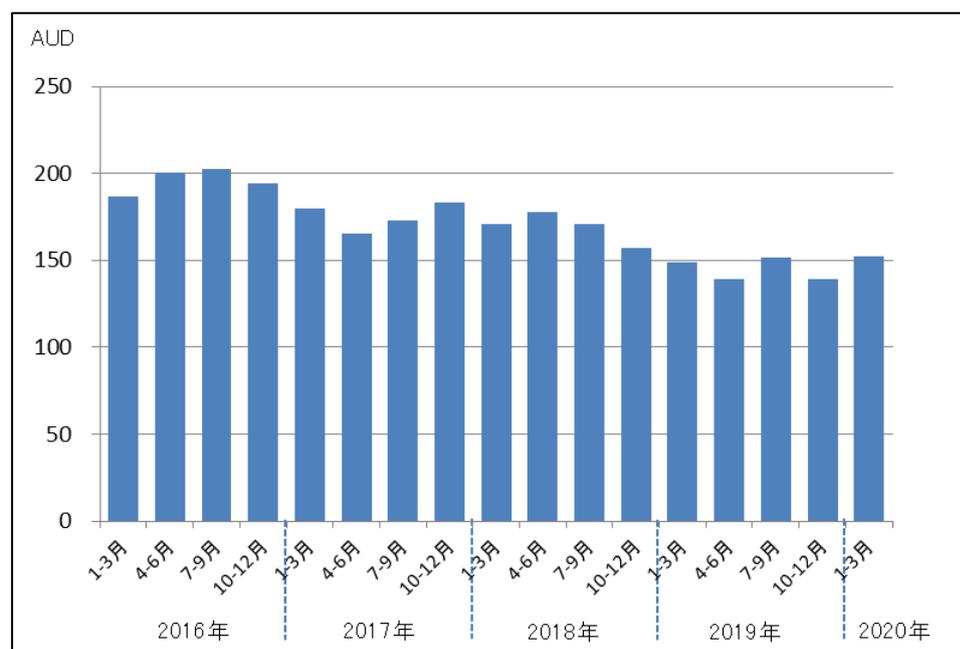


<体液曝露部位>

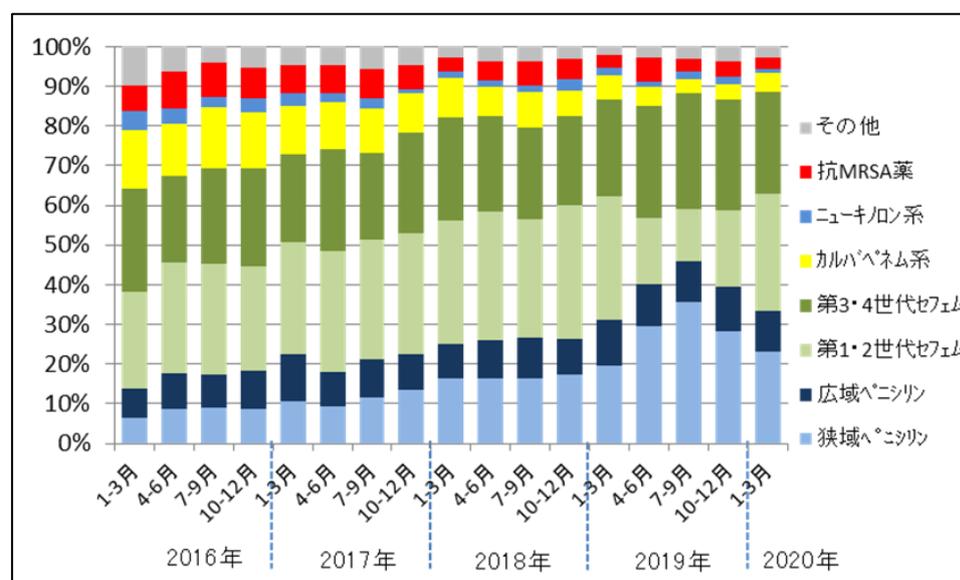
曝露部位	看護師	医師	その他
目	3	1	
口・鼻	1		
傷のある皮膚			
その他			1

## 5. 抗菌薬の適正使用

### 1) 2016年1月～2020年3月までの3か月間ごとの点滴抗菌薬平均 AUD



### 2) 2016年1月～2019年3月までの3カ月ごとの点滴抗菌薬比率の推移



## 6. 感染対策防止加算にかかる活動

(1) 感染対策防止加算 2 の連携施設(金川病院、済生会吉備病院、岡山中央病院、金田病院)と合同カンファレンスの実施

第1回 「インフルエンザ対策の振り返り」

第2回 「ICTの活動状況について」(金田病院にて)

第3回 「結核について」

第4回 「耐性菌の検出状況と抗菌薬の使用状況について」

(2) 連携病院との相互訪問 (地域連携加算:年1回の相互訪問の実施)

10/7 岡山赤十字病院へ訪問

10/25 岡山赤十字病院から訪問